

貯法：室温保存  
 使用期限：外箱、分包に表示  
 注意：吸湿し易いので開封後はなるべく速やかに使用すること。

# ソリタ®-T配合顆粒2号

## SOLITA®-T GRANULES No.2

承認番号	22100AMX00939
薬価収載	2009年9月
販売開始	2002年7月
再評価結果	1986年12月

### [禁忌] (次の患者には投与しないこと)

- (1) 腸管閉塞、腸穿孔、小腸機能障害のある患者  
[症状が悪化するおそれがある。]
- (2) 重篤な腎障害のある患者  
[水・電解質異常を起こす又は増悪するおそれがある。]
- (3) 激しい嘔吐のある患者

### [組成・性状]

#### 1. 組成

本剤1包(4.0g)中の成分、分量及び本剤1包を水100mLに溶解したときの電解質濃度は下記のとおりである。

成分	1包(4.0g)中
塩化ナトリウム	175mg
塩化カリウム	149mg
無水リン酸二水素ナトリウム	120mg
クエン酸ナトリウム水和物	196mg
炭酸マグネシウム	14mg

添加物	1包(4.0g)中
白糖	適量
ブドウ糖	160mg
クエン酸水和物	100mg
香料	微量

#### 溶解後の電解質濃度 (mEq/L)

Na <sup>+</sup>	K <sup>+</sup>	Mg <sup>2+</sup>	Cl <sup>-</sup>	Phosphate	Citrate <sup>3-</sup>
60	20	3	50	10(mmol/L)	20*

\* 添加物としてクエン酸水和物(溶解後のCitrate<sup>3-</sup>濃度：14mEq/L)を含むので、本剤の溶解後のCitrate<sup>3-</sup>濃度は34mEq/Lである。

本剤1包(4.0g)は約13kcalである。

#### 2. 性状

本剤は白色で甘味と酸味を有し、特有の芳香がある。  
 剤形：顆粒剤

### [効能・効果]

軽症又は中等症の体液異常喪失時の電解質の補給・補正

### [用法・用量]

本剤1包(4.0g)を用時100mLの水又は微温湯に攪拌溶解する。通常成人1回100mLを1日数回患者の口渇に応じて経口投与する。小児には1回20~100mLを1日8~10回(2~3時間毎)経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

### [使用上の注意]

#### 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。(再審査対象外)

頻度不明	
消化器	嘔吐、下痢等
大量投与	水中毒 <sup>注1)</sup>

注1) 輸液療法と併用の際起こすことがある。

#### 2. 高齢者への投与

一般に高齢者では、生理機能が低下しているため、減量するなど注意すること。

#### 3. 適用上の注意

##### (1) 調製時

- 1) 定められた水溶液として調製し、高濃度の水溶液を投与しないこと。
- 2) ミルク、フルーツジュース等の電解質を含む他の液と混合又は同時に投与する場合には、電解質量を十分に考慮すること。

##### (2) 投与時

- 1) 乳幼児には初回に約20mL投与し、30~60分間経過後嘔吐のないことを確かめてから、追加することが望ましい。
- 2) 患者が欲しない場合は服用を強制しないこと。

### [臨床成績]

- (1) 本剤の水溶液を経口投与することにより、腸管粘膜から電解質が選択的かつ合理的に吸収され、静脈内輸液とほぼ同様の効果が期待できる。<sup>1,2)</sup>
- (2) 本剤は、下痢、嘔吐その他の体液異常喪失による脱水症に対し、電解質を補給し、体液動態を正常に戻し、脱水状態の回復過程における細胞機能の修復を有利にする。<sup>1,3)</sup>

### [包装]

1包(4.0g) × 100

### [主要文献]

- 1) 藪田敬次郎 他：小児科診療，27，1044，1964
- 2) 石田正統 他：ソリタ®-T顆粒臨床文献集，26，1977
- 3) 金子栄蔵：新輸液療法ハンドブック，52，1976

### [文献請求先]

株式会社 陽進堂 お客様相談室  
 東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号  
 ☎ 0120-647-734

### 製造販売元

**エイワイファーマ株式会社**

東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号

### 販売元

**株式会社 陽進堂**  
 富山県富山市婦中町萩島3697番地8号